



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ボーソー油脂株式会社  
コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 治男  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 難波 克行

TEL 047-433-5551

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,972	8.9	27		33		21	
25年3月期第1四半期	4,565	11.6	50		53		43	

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 17百万円 ( %) 25年3月期第1四半期 50百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	1.34	
25年3月期第1四半期	2.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	12,113	4,287	35.4	271.53
25年3月期	11,460	4,383	38.2	277.66

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,284百万円 25年3月期 4,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期				5.00	5.00
26年3月期					
26年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,200	3.3	60		70		40		2.53
通期	21,000	9.3	230		240		130		8.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	16,060,000 株	25年3月期	16,060,000 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	279,676 株	25年3月期	279,676 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	15,780,324 株	25年3月期1Q	15,781,253 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しており、8月7日付けの四半期レビュー報告書を受領しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。なお、業績予想の前提となる仮定その他の条件については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や金融緩和への期待から全体の景況感は回復傾向となりましたが、一方で長引く欧州経済の低迷や新興国の景気減速の影響などから、実体経済の回復やデフレ環境からの脱却に関しては依然として不透明な状況が続きました。

植物油業界におきましては、海外原料穀物価格が高止まりするなかで、昨年末以来の円安が一段と進んだ結果、原料調達コストが大幅に増加し、コストの増加に見合う油脂製品価格の改定が大きな課題となりましたが、デフレ傾向が続くなかで十分な浸透を図ることができず、大変厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループでは、顧客ニーズに合わせたきめ細かな営業活動を実践し、油脂製品ではなたね油の販売数量は減少いたしました。また、コメ油や工業油の販売数量は増加し、油粕についても生産にあわせた適切な販売数量を確保することができ、石鹸化粧品につきましても液体石鹸や化粧品の販売数量の増加を図ることができました。加えて、油脂製品や油粕製品販売価格の上昇により売上高は前年同期を上回ることができました。

なお、収益面におきましては、全社的なコスト削減に取り組む一方で、原料調達コストの上昇を反映した適正な油脂製品価格の実現に取り組んでまいりましたが、業界環境が厳しいなかで十分な改定を図ることができず、赤字計上のやむなきに至りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における営業成績は、売上高49億72百万円（前年同四半期は45億65百万円）、営業損失27百万円（前年同四半期営業損失50百万円）、経常損失33百万円（前年同四半期は経常損失53百万円）、四半期純損失21百万円（前年同四半期は四半期純損失43百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における資産の部は、121億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加いたしました。主な要因は、棚卸資産の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末比7億49百万円増加の78億26百万円となりました。主な要因は、仕入債務の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末比より96百万円減少の42億87百万円となりました。主な減少の要因は、四半期純損失を21百万円計上、剰余金の配当金の支払78百万円であり、主な増加の要因は、その他有価証券評価差額金3百万円であります。

#### (キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より1億67百万円増加しましたので、11億20百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は3億38百万円（前年同四半期は75百万円の獲得）となりました。主な増加の理由は、減価償却費89百万円、賞与引当金の増加額73百万円、売上債権の減少額1億37百万円、仕入債務の増加額7億6百万円、主な減少の理由は、税金等調整前四半期純損失33百万円、たな卸資産の増加額6億48百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は27百万円（前年同四半期は65百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1億43百万円（前年同四半期は39百万円の使用）となりました。これは主に借入金の返済による支出によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,043,376	1,210,731
受取手形及び売掛金	4,113,031	3,975,295
商品及び製品	561,129	686,703
仕掛品	465,221	619,484
原材料及び貯蔵品	781,831	1,150,338
その他	188,605	232,356
貸倒引当金	4,694	4,532
流動資産合計	7,148,501	7,870,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	571,717	559,995
機械装置及び運搬具(純額)	1,460,299	1,402,701
土地	1,519,067	1,519,067
その他(純額)	31,003	27,885
建設仮勘定	11,319	25,728
有形固定資産合計	3,593,407	3,535,378
無形固定資産	43,381	40,183
投資その他の資産		
投資有価証券	213,557	219,292
その他	461,803	448,706
貸倒引当金	19	12
投資その他の資産合計	675,341	667,986
固定資産合計	4,312,131	4,243,549
資産合計	11,460,632	12,113,926

ポーソー油脂株式会社(2608)平成26年3月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344,373	4,051,187
短期借入金	1,478,050	1,439,250
未払法人税等	12,342	19,917
賞与引当金	116,547	189,870
その他	450,709	560,058
流動負債合計	5,402,022	6,260,284
固定負債		
長期借入金	757,300	660,450
退職給付引当金	517,050	507,546
役員退職慰労引当金	166,253	166,932
負ののれん	6,940	6,281
その他	227,536	225,415
固定負債合計	1,675,081	1,566,625
負債合計	7,077,103	7,826,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,205,496	2,105,450
自己株式	49,498	49,498
株主資本合計	4,321,894	4,221,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,613	62,941
その他の包括利益累計額合計	59,613	62,941
少数株主持分	2,021	2,226
純資産合計	4,383,529	4,287,016
負債純資産合計	11,460,632	12,113,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,565,841	4,972,700
売上原価	4,055,211	4,449,268
売上総利益	510,630	523,432
販売費及び一般管理費	560,959	550,459
営業損失( )	50,328	27,026
営業外収益		
受取利息	14	29
受取配当金	1,270	1,816
持分法による投資利益	-	267
負ののれん償却額	659	659
受取手数料	405	570
受取補償金	6,549	926
雑収入	1,835	2,252
営業外収益合計	10,734	6,520
営業外費用		
支払利息	11,214	10,702
持分法による投資損失	502	-
支払手数料	1,080	1,080
その他	1,026	855
営業外費用合計	13,824	12,638
経常損失( )	53,418	33,144
特別損失		
固定資産除却損	-	9
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純損失( )	53,418	33,153
法人税、住民税及び事業税	16,518	17,514
法人税等調整額	26,589	29,728
法人税等合計	10,070	12,214
少数株主損益調整前四半期純損失( )	43,347	20,939
少数株主利益	173	205
四半期純損失( )	43,521	21,144



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	43,347	20,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,202	3,327
その他の包括利益合計	7,202	3,327
四半期包括利益	50,550	17,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,723	17,816
少数株主に係る四半期包括利益	173	205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	53,418	33,153
減価償却費	89,595	89,222
負ののれん償却額	659	659
退職給付引当金の増減額( は減少)	13,562	9,503
賞与引当金の増減額( は減少)	73,711	73,323
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	677	679
貸倒引当金の増減額( は減少)	135	169
持分法による投資損益( は益)	502	267
受取利息及び受取配当金	1,285	1,845
支払利息	11,214	10,702
固定資産除却損	-	9
売上債権の増減額( は増加)	168,808	137,736
たな卸資産の増減額( は増加)	515,951	648,344
仕入債務の増減額( は減少)	460,459	706,814
未払消費税等の増減額( は減少)	69,948	5,042
未払費用の増減額( は減少)	18,214	17,285
その他	1,870	7,434
<b>小計</b>	<b>157,049</b>	<b>354,308</b>
利息及び配当金の受取額	1,285	1,845
利息の支払額	10,952	10,305
法人税等の支払額	71,862	7,333
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>75,519</b>	<b>338,514</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	344	347
有形固定資産の取得による支出	61,347	33,238
無形固定資産の取得による支出	-	180
貸付金の回収による収入	750	8,350
その他	4,253	2,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>65,194</b>	<b>27,595</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	662,000	402,000
短期借入金の返済による支出	585,000	425,000
長期借入金の返済による支出	109,400	112,650
配当金の支払額	6,119	6,196
その他	1,472	1,716
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>39,992</b>	<b>143,563</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
<b>現金及び現金同等物の増減額( は減少)</b>	<b>29,667</b>	<b>167,355</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,341,706	953,257
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,312,038</b>	<b>1,120,613</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及び副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。